

## R7.7.8 研修参加者記入アンケートのまとめ

A：本日の研修で印象に残ったこと・内容をご記入ください。

### 1. 子どもの姿を起点にした保育の重要性

- ・子どものつぶやきに耳を傾け、一緒に楽しむ時間を大切にしたい。
- ・「がんばらせる保育」ではなく、目の前の子どもの姿をよく見て保育を考えることが大切。
- ・子どもの興味や今の姿から、どんな動きができるかを考えることが印象に残った。子どもの姿から何が大切かを考えることが重要だと感じた。

### 2. 遊びのねらいや目的を意識した保育の工夫

- ・遊びが目的になっていないか、遊びを通して何を経験してほしいかを考えることが大切。
- ・しっぽ取りゲームでも、ねらいによって遊び方が変わることに気づいた。
- ・一つの遊びでも、遊び方次第で様々な経験ができることが子どもの成長につながる。
- ・遊びから入ると「できた・できない」になりがちだが、保育者の意図やねらいが重要。その遊びで何を経験してほしいか、他の遊びでも代替できるかを考えることが印象に残った。

### 3. 保育者自身の気づきと今後への意識

- ・「運動会のための運動遊びではいけない」という言葉が心に残った。「楽しいは心のエンジン」という言葉が印象的だった。
- ・今までの慣習に疑問を持ち、今年度の子どもの姿をしっかり把握して遊びにつなげたい。
- ・幼児期の自発的な遊びが非認知能力を育てることを意識したい。貴重な話を聞いて有意義な時間だったと感じた。

A：本日の学びや気づきを生かし、今後どのように取り組もうと思われませんか。

### 1. 子どもの姿を見ながら保育を進める意識

- ・不器用な子どもが多いため、それぞれの子どもの姿を見ながら楽しめる範囲で保育に取り組みたい。
- ・今の子どもの姿から興味に沿って動きを考え、見せる運動会ではなく、子どもも保育者も楽しいと思える運動会にしたい。
- ・子どもの興味に沿った運動遊びを日々取り入れていきたい。
- ・子どもの今の育ちをよく知ったうえで、鬼ごっこなども様々なルールで楽しみたい。

### 2. 保育のねらいや方法を見直す気づき

- ・「頑張らせる保育」について振り返り、自分の保育にもその要素があったかもしれないと気づいた。
- ・遊びを通して経験を積み、苦手なことにもチャレンジできるような保育を目指したい。
- ・運動会に向けて、子どもの姿を見ながら一番楽しく取り組める競技を選びたい。
- ・なぜその活動をするのか、本当にそれしか方法がないのかを自問自答し、他の先生方と相談しながら保育を進めたい。

### 3. 保育者自身の学びと今後への活用

- ・自分の保育を見直し、「これをやってほしい」とやらせていた部分があったかもしれないと反省。
- ・今の子どもたちにとって何が必要かを考えながら遊びを考えていきたい。
- ・しっぽ取りにもたくさんの種類があることを知り、明日以降の保育に活かしたい。